

学校における主権者教育に関する取組について① 資料2-2

1. 岐阜県内の学校における取組例

☆可児高等学校

OBら3人を候補者にした「**模擬市長選**」の実施【H28.3.25】

- ・市議会、市選挙管理委員会と協力。
- ・「観光」「交通安全」「防災」「教育」の四つのテーマごとに公約を掲げた選挙公報を全校生徒に配布。2月に立会演説会。
- ・生徒はグループ単位で選挙公報を基に、四つのテーマごとに候補者に1～5段階の評価を付け、投票。



☆岐阜高等学校

大学教員を招いた「**主権者教育講座**」の実施【H28.5.17】

- ・岐阜経済大学の竹内治彦副学長が公開ロングホームルームにおいて、新聞を活用した主権者教育のモデル授業を実施。
- ・竹内副学長が、選挙や投票についての概要説明をしたのち、選挙に関する世論調査などの新聞記事を生徒が読み、選挙の争点をどのように考えるか討論し、発表するスタイル。



☆市町村選挙管理委員会の協力による「**模擬選挙**」の実施

- ・岐阜高等学校【H27.10.8】
- ・揖斐高等学校【H27.11.5】
- ・恵那農業高等学校【H27.12.17】
- ・不破高等学校【H28.1.28】
- ・池田高等学校【H28.1.29】
- ・大垣南高等学校【H28.4.25】
- ・羽島特別支援学校【H28.6.6】
- ・飛騨神岡高等学校【H28.6.21】

☆市町村議会の協力による「**模擬議会**」の実施

- ・可児高等学校【H27.2.10】

☆学校内における「**期日前投票所**」の設置

- ・関商工高等学校【H28.7.6】



学校における主権者教育に関する取組について②

2. 岐阜県外の学校における取組例

☆京都府：私立立命館宇治高等学校

「政党マニフェスト（政権公約）公開ヒアリング」【H28.6.8】

- ・7月の参議院議員選挙を見据え、京都選挙区(定数2)に立候補予定の自民、民進、公明、おおさか維新、共産の各党の国会議員や候補者ら5人が、各6分間の持ち時間で、党のマニフェストや個人の政策を訴えた。
- ・後日(6.28)、参議院比例選挙を想定し、模擬投票を実施。
- ・開票は、7月10日の参議院議員選挙の結果が判明して以降に行う予定。



☆千葉県：千葉県立船橋北高等学校

「参議院議員選挙立候補予定者の選挙公報の作成」【H28.6.17】

- ・授業で3年生が参議院議員立候補予定者の選挙公報を作成。
- ・参議院議員選挙の立候補予定者数の7班に分かれ、スマートフォンなどで情報収集。
- ・各候補者が訴える政策を基に「少子化対策」「安倍政権NO！」などのキャッチフレーズを考案した。

